

Numazu Fresh News

元富士樋管排水対応演習を実施しました
～富士建設業協会関係者、富士市水防団が参加～

発信日：2014/7/30

発信者：沼津河川国道事務所

富士市五貫島にある「元富士樋管」にて、出水時に迅速かつ的確に排水対応を行うことを目的として、排水対応演習を実施し、建設業協会の加盟各社、富士市水防団、富士市職員の総勢37名が参加しました。

参加者は排水ポンプを排水管に接続して、堤防外（海側）に排水を行うとともに、照明車の設置を行いました。

演習の様子

排水ポンプ車は30t/mim、照明車は10m、20mの2台の演習を行いました。



排水管に接続した排水ポンプを用水路に下ろす参加者



ホースを排水管に接続



堤防外の排水口



照明車の設置

元富士樋管内水対策用排水管の概要

元富士樋門は、波浪により樋門吐き口の土砂閉塞が発生し、排水が困難となり過去度々内水被害が発生しています。内水を排除するには、堤防を乗り越えて海側に排水することが必要ですが、堤防が非常に高いため、国交省所有の排水ポンプ車でも排水困難でした。このため、既設樋門の管路内に排水管を設け、土砂閉塞時のポンプ排水を可能にしました。



元富士樋管と堤防



元富士樋管と用水路

建設業協会関係者や水防団には災害時に排水対応をお願いすることになります。今回の演習を開催することで、台風などの災害に対する備えを強化することができました。

記事の詳細については(河)副所長(TEL:055-934-2001)にお問い合わせ下さい。